

大阪城

2025

11/20

(木)

14559

号

全港
西成
分會

224
6647-
4947

2日ほど前から寒くなってきた。

気温も17度と8度とか。インフルエンザも流行り始めている。フロアのころのうがい手洗いをやめるところから実行していきたいものです。

高市政権ができて、ほぼ1ヶ月が流れた。

フスコミなどでの支持率は高いと言われているが、臨時国会は残り1ヶ月を切ったが、何をやり切るのかまだよく見えてこない。

物価高をおさえるために、経済対策を決め、そのために補正予算を12/17(水)会期末までに成立させる必要があるといわれている。政権は17兆円ほどの予算だといいい、自民党内の積極財政という人々からは25兆円ほどの予算を出せよと要求されている。

その大盤振る舞いのせいか、日本の国債がぐんぐん売れなくて、長期金利が高くなっている。

日本銀行はインフレをおさえるために、今の0.5%の政策金利を引き上げたいようだ。積極財政の言や政権は、金利を上げさせないように進んでいる。経済の自然な流れと、ガクシヤクした関係に高市政治はあるようだ。議員定数の削減も、時あたけ過ぎているのか？どうするのか？見えてきていない。

ビールを取りにきてくれる人が話していたが、新世界の古くからあるサンパツ屋も、長く100円で洗髪も含めてサンパツをしていたが、来月(12月)から200円上り、200円になる……とかいう。50年以上続く古い店でも、1. 600からいる労働者はよく知っている店だろう。

あるゆるものが値上がりしてきた。インフレ物価高は、とまりそうもない。自販機の飲料^{500 ~ 600 3リットル}は、よく割値上げにむかっている。200円時代に入っている流氷だという。自販機台数は、昨年からは2万台へって、全国には約22万台あり、24時間年中無休で動いているが、値上げて、少し売れなくなってきた。縮小の流れにあるという。

一つの大きな原因は、円安にあるといわれる。

現在、ドル155円ぐらいで、円が値うちが安く、安くなっている。外国からの輸入^のは高くなる構造になっている。今の高市政権の円安対策、物価対策も、みている。円安をなんとかしようという。真剣な動きは見られない。物価に反感をやわらげるための、対症療法で、商^の券をくばるとか、給付金的なものを出すとかで、物価高を内部から、原因の構造の中に、入りにくく、変換するとかの考えはないので、今のままでは、インフレは続きそうですね。